

**[ 横浜市民ギャラリーあざみ野 ]**  
**平成 2 3 年度業務計画及び収支予算**  
**[ 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 ]**

文中の事業欄において、  
 ：主催事業。      ：共催事業  
 を示します。  
 文中の達成指標欄において、  
 ：定量的指標。    ：定性的指標  
 を示します。

### 1 施設の概要

施設名	横浜市民ギャラリーあざみ野
所在地	青葉区あざみ野南一丁目 1 7 番地 3
構造・規模	鉄筋鉄骨コンクリート造地上 3 階・地下 1 階
敷地・延床面積	敷地面積 4,283 m <sup>2</sup> 延床面積 7,899 m <sup>2</sup> / 専有面積 1,975 m <sup>2</sup>
開館日	平成 17 年 10 月 29 日

### 2 指定管理者

法人名	公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区北仲通四丁目 40 番地
代表者	理事長 澄川 喜一
設立年月日	平成 3 年 7 月 10 日
指定期間	平成 22 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで

### 3 指定管理に係る業務方針

#### ( 1 ) 基本的な方針

「アートで元気になろう」というコンセプトで、アートを積極的に生活に取り入れ、  
 心豊かに暮らす市民といっしょに地域に働きかけ、横浜を元気にすることを目指  
 します。

- ・ 市民と協働し、創造活動を行います。
- ・ いろいろな活動をしている人たちが知り合い、協力しあい、新しい活動が生まれる体制をつくり、ネットワークで地域が広がることを目指します。
- ・ 年齢、性別、人種、障がいの有無などすべての人に開かれた運営を男女共同参画センター横浜北とともに、すべての人を受け入れ、施設のにぎわいを作り出します。

( 2 ) 23 年度の位置づけ

事業の方針

企画展、通年で行っているアトリエ講座等の内容を充実させ、市民が美術に触れる機会（鑑賞・参加）を数多く提供します。また、男女共同参画センター北との連携を強め、複合施設の特性を生かした多彩なプログラムを実施します。アートサポーターをはじめとする市民協働や参加型事業の展開を通して、市民がアートと出会う機会を増やし、“街づくりアート”を充実させます。

平成 23 年度は横浜トリエンナーレの開催年でもあり、市北部における同展の広報や集客のサポートにつながる活動をします。また、横浜市所蔵カメラ・写真コレクションの収蔵館として、「フォト・ヨコハマ」への協力・連携を推進します。

運営の方針

貸館利用者のサービス向上、バリアフリーの推進等、センター横浜北と共同で今後も利用者の居心地のよい施設運営に努めます。利用者の目線に立って希望を受け止め、芸術文化活動の成果が最大限発揮できるよう、専門的なサポートを行います。また、横浜市所蔵カメラ・写真コレクションの整理・保存・活用を一層推進します。

管理の方針

設備や備品の適切な保守管理に努めます。アートフォーラムあざみ野全体で、環境に配慮するとともに、安心して明るく使いやすい施設管理に取り組みます。

4 事業に関する業務計画

( 1 ) 文化芸術に直接出会える場について

[業務内容]	[達成指標]
展覧会事業 文化芸術に直接出会える場として、横浜にある芸術文化資源を生かした企画(「横浜 wo 発掘 suru 展」)、子どもから大人まで楽しめる参加型の企画(「あざみ野こどもぎゃらりい」)、カメラ・写真の企画(「横浜市所蔵カメラ・写真コレクション + 写真展」)、コンテンポラリーの企画(「あざみ野コンテンポラリー」)など、多彩な展覧会を実施します。	4 回の展覧会で、関連事業を含め入場者数 12,000 人以上。 アンケートを実施し、企画展 4 回の平均満足度 4.5 以上。

( 2 ) 市民やアーティストの創造活動の支援の場について

[業務内容]	[達成指標]
市民のためのワークショップ 美術創作の基礎基本の習得を目指す。	市民のための講座・ワークショップを年間 8 講座以上実施。

<p>的とした講座や、アーティストが行うレクチャーを中心とした講座等を行います。</p> <p>創造活動支援</p> <p>ホワイエに設置した展示ケースで、アーティストの小品展「ショーケースギャラリー」を行います。</p> <p>市民協働企画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アートの領域を広げ、生活の中にあるさまざまなことを学ぶ場・「あざみ野カレッジ」を実施します。</li> <li>・コンテンポラリーの企画展等においてサポーターに運営に関わっていただき、新進アーティストを紹介します。</li> </ul>	<p>講座・ワークショップ参加者延べ 800 人以上。</p> <p>ショーケースギャラリーで、新進アーティストによる展示を 3 回実施。その他様々な側面からサポートします。</p> <p>あざみ野カレッジは、5 年間で学生数 1,000 名を目指します。</p>
--	--

( 3 ) 次代を担う子どもの創造性教育の場について

<p>[業務内容]</p> <p>子どものためのプログラム</p> <p>創造活動の場として、幼児・児童・個別支援学級や特別支援学校に通う親子を対象にしたワークショップや、親子が粘土、紙、えのぐで遊べる造形ひろばを開催します。また、音楽に親しむ事業として「ジュニアコーラス」を行います。</p> <p>学校教育との連携</p> <p>鑑賞事業として展覧会を活用してもらうための連携事業を開催するほか、教師を対象に鑑賞・実技のワークショップを開催します。また、中学や高校美術の先生とのプロジェクトをつくり、事業への参加を促します（ティーチャーズあざみ野プロジェクト）。</p> <p>アウトリーチ</p> <p>「横浜市芸術文化教育プログラ</p>	<p>[達成指標]</p> <p>子どものためのワークショップを年間 10 講座以上実施。</p> <p>親子のフリーゾーンを含め、子どものためのプログラムへの参加者延べ 8,000 人以上。</p> <p>学校教育との連携を推進し、アウトリーチ事業を 5 回以上実施します。また、展示鑑賞や創作の場を提供します。</p>
---	---

ム」に協力し、コンテンポラリーアートに親しむプログラムを実施します。	
------------------------------------	--

(4) 創造活動と社会、市民活動を結びつける場について

<p>[業務内容]</p> <p>サポートコーディネイトをします。</p> <p>北部4区美術公募展 実行委員会と共催し、市民の創作活動の発表の場を提供します。</p> <p>青葉区民芸術祭 絵画・書道・写真・茶道・文芸など、施設全体を総合的な芸術活動による市民交流の場とします。</p> <p>街なかアートプロジェクト アート・ルート・あざみ野プロジェクトを発展させ、地域のさまざまな市民活動と結びつき、出張事業を行います。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>北部公募展の拡がりや定着を反映し、展示室全面を利用して展示会を開催します。応募総数 250 点以上。</p> <p>青葉区民芸術祭は前・後期で入場者数 5,000 人以上。</p> <p>アート屋台などを活用し、街なかアートプロジェクトは 5 年間で 15 事業実施。(23 年度は 3 事業)</p>
---	--

(5) 創造活動を介した人々の関わり合いの場について

<p>[業務内容]</p> <p>フェローアートギャラリー 障がいのあるなしにかかわらず認め合える豊かな関係を築くことを目指し、作品展示を通して特別支援学校や作業所での創造活動を支援します。</p> <p>アーティストと市民の交流 市民協働で運営するアートカフェ、アートガーデン、アートワゴンを通じ、市民とアーティストが知り合う場、アーティストや障がいのある人たちのアート作品を発表・販売する場を創出します。</p> <p>あざみ野ナイト 建物の壁面や窓ガラスを使って</p>	<p>[達成指標]</p> <p>フェローアートギャラリーにおいて 2 組以上の展示発表を実施。</p> <p>アートカフェ・アートワゴン・あざみ野ナイトを同時開催含め 5 回以上実施し、相乗効果で来館者を増やし来館者の芸術文化体験を充実させます。</p> <p>あざみ野ナイト開催日の来館者数 2,000 人以上。</p>
--	--

映像作品を映し出すイベントを行い、アートを生かした親しみやすく賑わいのある場をつくりま	
---	--

## 5 施設の運営に関する業務計画

### (1) 人員配置について

項目	人数	備考
館長	1人	課長級
副館長	1人	係長級
職員	8人	臨時職員含む

### (2) 勤務体制について

基本：早番（8：45～17：30）2名、遅番（12：30～21：15）2名  
（副館長、職員およびアルバイト計9名によるローテーション制）

### (3) 市民の利用を促進することについて

<p>[業務内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続きアトリエの平日夜間料金を半額とし、新規利用者開拓と利用促進を図ります。</li> <li>H22年度からほぼ100%利用となった展示室については、遺漏のない貸し出し業務に努めます。</li> <li>利用団体の展覧会情報をHPで紹介し、広報協力をします。</li> <li>利用者の意図が最大限発揮できるよう具体的なアドバイスやお手伝いをします。</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <p>アトリエの目標利用率：5年間で70%（23年度は63%） アトリエの夜間の23年度目標利用率：25%（22年度は22%） アンケートの集計による利用者の満足度4.5以上を目指します。</p>
---	--

### (4) 施設運営における市民参画を促進することについて

<p>[業務内容]</p> <p>「あざみ野アートサポーター」との協働を推進し、展覧会、ワークショップおよび広報事業にご協力</p>	<p>[達成指標]</p> <p>アートサポーターは5年間で150名登録を目指します。（23年度は60名） アートサポーターに企画展や広報事業で活動していた</p>
--	--

いただきます。	だきます。
---------	-------

(5) 積極的な広報を展開することについて

<p>[業務内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報誌「アートあざみ野」で、貸館利用者の情報のほか、当館の事業活動のPRをします。</li> <li>・ メルマガの登録者(「あざみ野メンバーズ」)を増やすとともに、ボランティア活動等の連絡体制をつくりまます。</li> <li>・ 「あざみ野アートネットワーク」として、ホームページを活用し、横浜のアート情報にアプローチしやすくするとともにネット広報事業を推進します。</li> <li>・ 施設の活動が的確に多くの市民に伝わるよう、様々な媒体を通じて広報を行い、来館者増につなげます。</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <p>ホームページアクセス件数が年間10万件以上を目指します。</p> <p>あざみ野メンバーズ、目標登録者数5年間で10,000名とします。</p> <p>メールマガジンやホームページでのアート情報発信を推進します。</p> <p>広報する内容によって有効な媒体を選択し、コストパフォーマンスを高めます。</p>
--	---

(6) 市民ニーズ、市民満足度等の把握と対応について

<p>[業務内容]</p> <p>顧客満足度調査(アンケート)を実施し、分析結果を管理運営に反映していきます。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>利用者サービスの向上を図るため、クレームや意見について職員の情報共有と検討を行い、迅速な運営改善につなげます。</p>
---	--

(7) カメラ・写真コレクションの適切な収蔵、保管、調査、研究、発表、活用、展示について

<p>[業務内容]</p> <p>収蔵庫管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 適切な収蔵庫管理を行います。</li> </ul> <p>管理・保存</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料の映像記録やデータベースを整備します。</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <p>年間を通じて温度は20 ±2、湿度50% ±2%とします。24時間温湿度・空気集中システムと、3基の自記式温湿度記録計にて常時監視し、管理は電気式パッケージエアコンで行います。</p> <p>pH値を定期的に測定し、測定結果に応じたケミカルフィルターを設置します。</p>
--	---

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常的に状態を確認し、必要な修復等を行い、適切な保存に努めます。</li> </ul> <p>調査・研究・発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主要な機関と連携して調査研究を進めます。</li> <li>・ 市民のためのワークショップにおいて、資料を活用します。</li> <li>・ ショーケースギャラリーにおいて小展示を行います。</li> </ul> <p>活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貸出、熟覧に柔軟に対応します。</li> <li>・ 横浜市の写真関連事業への協力を行います。</li> </ul>	<p>定期的に文化財喰害虫生息調査を実施し、結果をもとに適正管理を行います。</p> <p>管理・保存、調査・研究については東京都写真美術館、日本カメラ博物館、横浜美術館などの専門機関の協力をあおぎながら進めます。</p> <p>講座実施や資料活用については、内部の専門職を中心に、外部の専門家を講師として招いて行います。</p> <p>ショーケースギャラリーでは資料を有効に活用しながら、様々な切り口で企画展示を年2回以上行います。</p>
--	---

## 6 施設の管理に関する業務計画

### (1) 市民ギャラリーあざみ野占有部分における建物・設備・備品の適切な保守管理及び予防保全

<p>[業務内容]</p> <p>a. 設備業者とともに建物・設備の保守管理を確実に行います。展示室の壁面の補修や備品のメンテナンスなど、良好な状態を保ちます。</p> <p>b. 法定点検を遺漏なく実施します。</p> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 展示室やアトリエの空気調和や清掃を適切に行い、快適な環境維持に努めます。</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <p>年間無事故を目指します。</p> <p>修繕必要箇所に迅速に対応します。</p> <p>展示室壁面を年1回メンテナンス(塗り直し)します。</p> <p>クレームの無い、快適な環境維持を目指します。</p>
--	--

### (2) 環境問題への配慮について

<p>[業務内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員や利用者の廃棄物については、適切な管理、搬出を行います。</li> <li>・ 光熱水費の削減に努めます。</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <p>常にゴミの分別、削減に努めます。</p> <p>利用者にはゴミの持ち帰りの原則を徹底し、必要な場合はゴミ袋を有料で販売します。</p> <p>電気や空調を無駄に使用しないよう心がけます。</p>
---	--

## 7 その他実施計画

### (1) 危機管理対策の充実について

<p>[業務内容]</p> <p>危機の未然防止に努めるとともに緊急対応体制を整備し、事故発生時には市へ迅速に報告します。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>緊急対応体制、危機管理マニュアルを明確化し、危機の際には全員が一致して取り組みます。 合同防災訓練を年間2回実施します。</p>
---	---

### (2) 保険及び損害賠償の適切な取り扱い、個人情報の保護への適切な措置、情報公開への積極的取り組みについて

<p>[業務内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保険及び損害賠償について適切に取り扱います。</li> <li>・ 個人情報保護、情報公開に適正に対応します。</li> <li>・ ホームページを活用し、必要な情報を開示します。</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 賠償責任保険、レジャーサービス保険、動産保険に加入し、事故の発生に備えます。</li> <li>・ 常に個人情報保護意識を持ち、集めた個人情報は規程に基づき適切に取り扱います。</li> <li>・ 施設利用者向けの必要な情報は施設ホームページにおいて速やかに公開します。</li> </ul>
--	--

### (3) 男女共同参画センター横浜北との連携について

<p>[業務内容]</p> <p>事業面での協働</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企画段階から共同し、複合施設の相乗効果を高めるとともに、双方の特色を活かした事業を行います。</li> </ul> <p>運営面での協働</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常業務や定例の打ち合わせにおいて情報や意見の交換をし、「アートフォーラムあざみ野」の施設職員としての意識を高め、効果的な運営に取り組みます。</li> <li>・ アートフォーラムあざみ野全体としての広報、施設の環境整備に対して引き続き協力して取り組みます。</li> </ul> <p>維持管理面での協働</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委託会社を交えた定例の打ち合わせを確実に実施し、施設</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <p>ロビーコンサートを月2回程度、通年で実施。 アートフォーラムフェスティバルを年1回実施。 女性と芸術文化をテーマにした「あざみ野サロン」とワークショップを共同の企画で実施。 週1回の管理合同ミーティングを実施（ギャラリー、センター、委託会社）。 月1回の職員合同ミーティングを実施。</p>
---	--



<p>全体の適正な維持管理に共同で取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委託会社にもそれぞれの財団のミッションや役割、事業内容、利用者の特性などについて伝え、有効な環境整備を推進します。</li> </ul>	
--	--

(4) 横浜アーティストデータバンクの構築と運用について

<p>[業務内容]</p> <p>横浜におけるコンテンポラリーアートの展開と発展のために実施します。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>アーティストや作品のアーカイブやデータベース共有化を図ります。</p> <p>新進アーティストを継続して支援していくことを重要なミッションとして位置づけており、積極的に取り組んでいきます。</p>
--	---

## 8 収支について

### (1) コスト削減への努力について

<p>[業務内容] 適正な予算執行と業務の効率化による節減に努めます。</p>	<p>[達成指標] 施設管理・事務事業にかかる経費を精査し、男女共同参画センターとも協力して一層の効率的な予算執行に努めます。</p>
---	---

### (2) 収入向上及び外部資金導入の努力について

<p>[業務内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用料金収入の安定的な確保に努めます。</li> <li>・ 自主事業等において、助成金・協賛金を獲得します。</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <p>利用料金収入年間1,200万円以上を維持。 助成金を2件申請し、獲得目標300万円。 協賛金・広告料獲得目標10万円以上。</p>
---	--

### (3) 収支予算額について

#### 収支予算書

(単位：円)

項目	予算額	備考
収入		
指定管理料収入	164,200,000	
利用料金収入	12,250,000	
事業収入	3,850,000	
その他収入	760,000	
合計	181,060,000	

支出		
人件費	70,860,000	
管理費	64,000,000	
事務費	10,100,000	
文化事業費	36,100,000	
合計	181,060,000	

収支計	0	
-----	---	--

【別紙 1】

自主事業一覧

No	実施時期	事業タイトル	会場	事業内容	入場見込(人)	事業費(円)
1	6月23日～ 7月3日	横浜 wo 発掘 suru 展 vol.2	展示室 1	横浜の優れた人材、芸術文化資源を発掘・展示する展覧会。	1,600	3,500,000
2	8月17日～ 8月28日	あざみ野こどもぎや らりい 2011	展示室 1・2 アトリエ	子どもから大人まで楽しめる内容の展覧会。自由参加型のワークショップもあり。	3,800	3,500,000
3	10月21日～ 11月13日	横浜市所蔵カメラ・写真コレクション+写真展 2011	展示室 1・2	様々な切り口でコレクションを紹介し、写真の企画展をあわせて行う。	3,200	5,500,000
4	2月4日～ 2月26日	あざみ野コンテン ポラリー2011	展示室 1・2 アトリエ ほか	さまざまなアーティストが現在行っている表現活動に目を向けた展覧会。	3,200	5,000,000
5	4月～3月	子どものアトリエ 「親子のフリーズ ーン」	アトリエ	子どもと保護者が自由に、粘土、絵の具、紙工作による造形遊びを楽しむ時間。	7,000	1,800,000
6	4月～3月	子どものためのプログラム ワークショップ、親子で造形ピクニック	アトリエ	子どもを対象とした創作や、支援学級・特別支援学校に通う親子を対象に自分の好きな素材で造形を楽しむワークショップなど。	延 700	1,800,000
7	4月～3月	市民のためのワークショップ	アトリエ	技術や材料、また道具や機材の扱いについての基礎基本の習得を目的としたものや、アーティストからレクチャーを受け、自らの表現に生かすワークショップなど。	延 800	1,800,000
8	4月～3月	市民協働事業 あざみ野カレッジ	アトリエ	生活の中にあるアートの領域を広げ、さ	200 30	600,000

		アーティスト「今年 の顔」 街なかアートプロ ジェクト		まざまなことを学ぶ 場を市民協働で運営。 アートサポーター と協働し、新進アーテ ィストを紹介。 地域 の市民活動と協力し、 アートの持つ活力で 街を元気にする出張 事業。	3 事業	
9	4月～3月	市民協働事業 センター横浜北 共同事業 アートカフェ アートワゴン ショーケースギ ャラリー あざみ野ナイト フェローアート ギャラリー アートガーデン	エントラ ンスロビ ー、ラウ ンジ、ア ートブラ ザ ほか	アーティストと市 民が語る交流の場。 アーティストや障が いのある人のアート 作品を販売するショ ップ。 ロビーに設置 した展示ケースで小 品展を実施。 建物を 使った映像作品上映 など、夜に行うイベン ト。 障がいのある人 たちのアート作品を 共有スペースに展示。 アートブラザに設 置した交流の場。	250  ～ は 共有スペ ースで実施の ため入場者 カウント不 可	3,000,000
10	4月～3月	学校連携事業 教師のためのワ ークショップ ティーチャーズ あざみ野プロジェ クト アウトリーチ	アトリエ ほか	小・中学校の先生を 対象とした鑑賞や実 技についてのワーク ショップ。 中高生の 美術体験の機会を増 やすプロジェクト。 横浜市が進める「横浜 市芸術文化教育事業」 と連携し、コンテンポ ラリーアートを楽し む事業。	20  5 (フ <sup>ロ</sup> ジ <sup>エ</sup> ク <sup>ト</sup> 外 <sup>部</sup> パ <sup>ー</sup> )  7 校	300,000
11	4月～3月	センター横浜北共同 事業 アートフォーラムフ ェスティバル2011	エントラ ンスロビ ー、アトリ エ、レクチ ャールー	アートフォーラムあ ざみ野の開館を記念 して毎年 10 月に全館 あげて実施するフェ スティバル。	2,500	300,000

			ム ほか			
12	4月～3月	センター横浜共同事業 「Welcome ロビーコンサート」	エントランスロビー	市民広間演奏会のメンバーを中心に、多彩なジャンルの音楽で昼のひとときを楽しんでいただくミニコンサート。	3,000	400,000
13	11月～12月	センター横浜北共同事業 「クリスマスジュニアコーラス」	アトリエ、音楽室、エントランスロビー	小学生対象の合唱。ワークショップ9回と本番(ロビーコンサート出演)1回。	延 300	300,000
14	4月～3月	センター横浜北共同事業 「あざみ野サロン」	レクチャールーム	講演会やコンサートなど、女性と芸術文化をテーマにしたイベント。	400	1,800,000
15	6月～8月	センター横浜北共同事業 「こころと体を考えるワークショップ」	アトリエほか	素材、身体、音、リズムなどをテーマにした講座。	20	300,000
16	4月～3月	横浜市所蔵カメラ・写真コレクションの保存と活用	収蔵庫、展示室、エントランスロビー	データベース整備、適切な保存業務。 コレクションの魅力を広く紹介するための貸出、公開。		3,400,000
17	4月～3月	情報紙「アートあざみ野」HPによる情報提供		当館主催事業のほか貸館の展覧会情報などの広報のため活用。		2,300,000
18	4月～3月	ネット広報事業 あざみ野メンバーズ/あざみ野ネットワーク		メルマガ登録者を増やし、ホームページを活用して横浜のアート情報にアプローチしやすい体制を作る。		500,000